



こちらに記載されている事業は、

競輪の補助金により実施した事業の一覧です。

補助事業名：平成24年度 自転車競技の普及促進

1. 補助事業の概要

(1)事業の目的

自転車競技の普及、振興を行い、国民の心身の健全な発達を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2)実施内容

①国内競技大会の開催

[第1回トラック・タイムトライアル・チャレンジ](#) (平成24年4月22日、群馬・前橋) 男子46名、女子11名参加



[第14回全日本自転車競技選手権大会ロードレース](#) (平成24年4月28日～29日、岩手・八幡平) 男子151名、女子50名参加



女子エリート (126.4 km) 1位 萩原麻由子

男子エリート (252.8 km) 1位 土井雪広

[第 81 回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラック・レース](#) (平成 24 年 5 月 26 日～27 日、長崎・佐世保) 男子 106 名、女子 12 名参加

[全日本マウンテンバイク選手権大会](#) (平成 24 年 6 月 1 日～3 日、長野・富士見)



エリート男子ダウンヒル
1 位 清水一輝

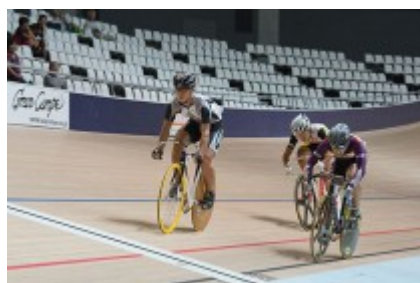


エリート男子クロスカンントリー
1 位 山本幸平

[全日本選手権個人タイム・トライアル・ロードレース](#) (平成 24 年 6 月 17 日、秋田・大潟)



[JOC ジュニアオリンピックカップ](#) (平成 24 年 8 月 11 日～12 日、静岡・日本 CSC)



[全日本自転車競技選手権大会トラック・レース](#) (平成 24 年 8 月 25 日～26 日・日本 GSC)



男子チームスプリント (強化チーム)



女子チームスプリント (強化 A チーム)



女子ケイリン



男子チームパーシュート

[全国都道府県対抗自転車競技大会](#) (平成 24 年 9 月 7 日～9 日、東京)



②国内での国際競技大会の開催

[日韓対抗学生自転車競技大会](#) (平成 24 年 11 月 3 日～4 日、奈良・奈良)

男子 20 名、女子 10 名参加



③国際競技大会事業

ア. 世界選手権大会派遣

- ・ [トラック](#) : 平成 25 年 2 月 20 日～24 日 ベラルーシ・ミンスク 選手
6 名、スタッフ 8 名



・ ロードレース

: 平成 24 年 9 月 16 日～23 日 ランダ・マーストリヒト 選手 15 名、スタッフ 7 名

UCI ロード世界選手権大会 (平成 24 年 9 月 15 日～23 日、オランダ・リンブルク)



女子エリート (128,8 km) 1 位 VOS Marianne NED 女子エリート (128,8 km) 萩原麻由子 DNF



別府



新城



福島



土井



畑中



宮澤



・ マウンテンバイク

: 平成 24 年 8 月 27 日～9 月 9 日 オーストリア・レオガ
ング/サーフデン 選手 7 名、スタッフ 4 名



・ BMX

: 平成 24 年 5 月 22 日～27 日 イギリス・バーミンガム
選手 7 名、スタッフ 6 名



チャレンジクラス 13 歳ガールズクラス
畠山紗英 2 年連続 3 回目優勝



三輪郁佳

- ・ 室内 : 平成 24 年 11 月 2 日～4 日 ドイツ・アシュヘンベルグ
選手 6 名、スタッフ 4 名
- ・ シクロクロス : 平成 25 年 2 月 1 日～3 日 アメリカ・ルイビル 選手
7 名、スタッフ 5 名



イ. アジア自転車競技選手権大会派遣事業

- ・ トラック・女子ロードレース : 平成 25 年 3 月 7 日～17 日 インド・ニューデリー 選手
34 名、スタッフ 14 名



女子エリートポイントレース (20km)
2 位 上野みなみ (青森・鹿屋体育大学) 36 点



男子エリートチームスプリント決勝
3 位 日本 (和田、坂本、稲毛) 46 秒 212



女子エリートチームパーシュート決勝
1 位 大韓民国 4 分 41 秒 576 (アジア新)
2 位 日本 (上野・塚越・小島・加瀬) 4 分 42 秒 433 (日本新記録)





男子エリートチームパーシュート決勝

2位 日本（窪木・一丸・橋本・伊藤）4分11秒103（日本新記録）



女子エリートスクラッチ決勝（10km）

9位 塚越さくら（鹿児島・鹿屋体育大学）

男子エリートスクラッチ決勝（15km）

8位 一丸尚伍（大分・エカーズ・U23）



男子エリート1kmタイムトライアル決勝

2位 稲毛 健太（JPCA・JPCU 和歌山）1分04秒816

女子エリートチームスプリント決勝

2位 日本（中川・加瀬）35秒731（予選：35秒727）



女子エリートオムニアム総合順位

3位 上野みなみ (青森・鹿屋体育大学) 18点

- 1) フライングラップ 15秒793 4位
- 2) ポイントレース (20km) 3位
- 3) エリミネーション 3位
- 4) 3km個人パーシュート 3分51秒002 1位
- 5) スクラッチ 4位
- 6) 500mタイムトライアル 38秒235 3位



男子エリートオムニアム総合順位

3位 窪木 一茂 (和歌山・和歌山県庁) 24点

- 1) フライングラップ 14秒277 8位
- 2) ポイントレース (30km) 2位
- 3) エリミネーション 2位
- 4) 4km個人パーシュート 4分39秒770 4位
- 5) スクラッチ 3位
- 6) 1kmタイムトライアル 1分07秒168 5位



女子エリート個人タイムトライアル (28.4km)

2位 上野みなみ (青森・鹿屋体育大学) 39分30秒090



女子エリートロードレース (99.4km)

- 8位 與那嶺恵理 (茨城・フォルツァ)
- 26位 塚越さくら (鹿児島・屋体育大学)
- DNF 上野みなみ (青森・鹿屋体育大学)

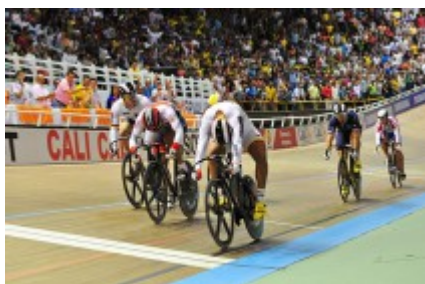


- ・ [2012年アジアMTB選手権自転車競技大会](#) : 平成24年10月12日～14日 レバノン・
バスキンタ 選手6名、スタッフ2名



(3) 国際大会選手派遣事業

- ・ [UCIトラックW杯#1](#) : 平成24年10月11日～13日 コロンビア・カリ 選手
7名、スタッフ5名



- ・ [UCIトラックW杯#2](#) : 平成24年11月16日～18日 イギリス・グラスゴー 選
手7名、スタッフ7名

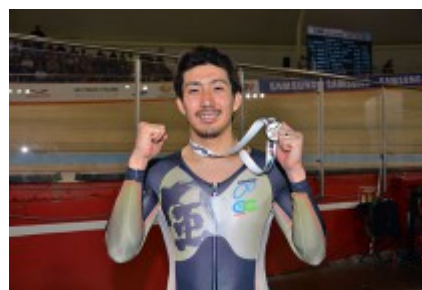


男子ケイリン決勝 3位 (銅メダル) 坂本貴史 (JPCA・JPCU 青森)

- ・ [UCI トラックW杯#3](#) : 平成 25 年 1 月 17 日～19 日 メキシコ・アグアスカリエンテス 選手 9 名、スタッフ 10 名



男子ケイリン決勝 2 位 (銀メダル) 渡邊一成 (JPCA・JPCU 福島)



ウ. ロンドンオリンピック派遣支援事業

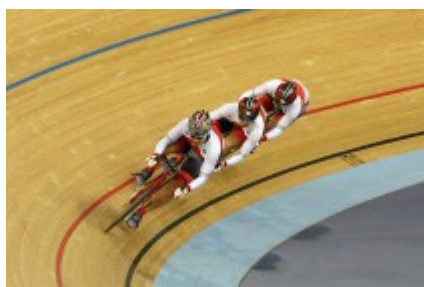
- ・ [第 30 回オリンピック競技大会](#) (平成 24 年 7 月 28 日～8 月 12 日、イギリス・ロンドン)



男子ロード 別府 22 位 新城 48 位



女子ロード 萩原 DNF



男子チームスプリント 日本チーム



男子スプリント 中川 9 位



女子スプリント 前田佳代乃



男子ケイリン 渡邊一成は準決勝敗退



③加盟団体事業

ア. 都道府県車連事業

全国地域別トラック

第 64 回	関 東地域	7/15	山梨・境川自転車競技場	男子 69 名	女子 13 名
第 44 回	中 部地域	9/17	愛知・一宮競輪場	男子 65 名	女子 9 名
第 44 回	近 畿地域	10/28	滋賀・旧びわこ競輪場	男子 48 名	女子 2 名
第 47 回	中 国地域	8/26	鳥取・倉吉自転車競技場	男子 30 名	女子 6 名
第 44 回	四 国地域	11/18	高知・りょうまスタジアム	男子 43 名	女子 7 名
平成 24 年度九州地域	11/10～11	福岡・久留米競輪場	男子 126 名	女子 4 名	

全国地域別道路競走

第 44 回	北海道地域	7/22	北海道・豊富町	男子 36 名	
第 47 回	関 東地域	2/3	埼玉・大宮市	男子 166 名	女子 9 名
第 46 回	中 部地域	9/16	長野・下伊那郡	男子 21 名	女子 4 名
第 47 回	近 畿地域	5/27	京都・美山町	男子 91 名	女子 6 名
第 47 回	中 国地域	6/9～10	島根・奥出雲	男子 102 名	女子 6 名
第 37 回	四 国地域	11/3	香川・三豊市宝山湖	男子 40 名	
第 45 回	九 州地域	11/12	大分・オートポリス	男子 75 名	女子 4 名

一 各都道府県別選手権 一

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日) 47 都道府県にて実施

イ. 日本プロフェッショナルサイクリスト協会事業

- ・ [平成 24 年度全日本プロ選手権](#) (平成 24 年 5 月 14 日、群馬・前橋) 男子 173 名



女子 1kmT.T 日本新記録
加瀬加奈子 1 分 10 秒 053



ケイリン決勝
1 着 浅井康太

- ・ [第 59 回全日本プロ選手権自転車競技大会 BMX](#) (平成 24 年 11 月 11 日、静岡・日本 CSC) 男子 41 名



1 位 古性 優作 (JPCA・JPCU 大阪)



- ・ 平成 24 年度地区プロ自転車競技大会

- 第 39 回北日本地区 9 月 29 日 北海道・函館競輪場 男子 58 名
- 第 39 回関東地区 10 月 29 日 群馬・グリーンロード前橋 男子 112 名
- 第 39 回南関東地区 10 月 2 日 神奈川・川崎競輪場 男子 100 名
- 第 39 回中部地区 10 月 2 日 富山・富山競輪場 男子 85 名
- 第 39 回近畿地区 10 月 26 日 奈良・奈良競輪場 男子 84 名
- 第 39 回中国地区 10 月 26 日 山口・防府競輪場 男子 60 名
- 第 39 回四国地区 10 月 21 日 徳島・小松島競輪場 男子 60 名
- 第 39 回九州地区 10 月 21 日 長崎・佐世保競輪場 男子 112 名

ウ. [全国高等学校体育連盟自転車競技専門部事業](#)

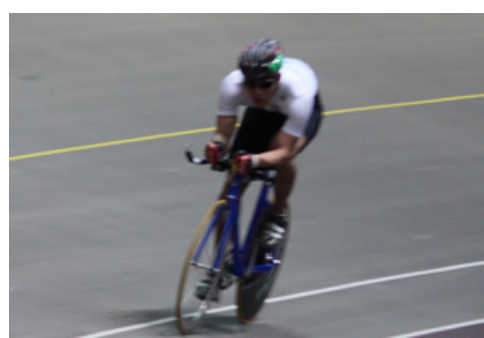
- ・ [全国高等学校選抜自転車競技大会](#) (トラック、ロード)



男子スプリント 1/2 決勝



女子500mタイム・トライアル 決勝



男子1kmタイム・トライアル 決勝



女子ケイリン決勝



男子ケイリン決勝

女子個人ロードレース



男子個人ロードレース



- ・高校自転車競技選手全国合宿（ブロック・全国）
- ・[チョンジュMBC国際ロードレース派遣](#)



エ. [日本学生自転車競技連盟事業](#)

- ・[第51回東日本学生選手権自転車競技大会](#) 平成24年5月12日～13日 山梨・境川
自転車競技場 男子161名 女子8名
- ・[第53回全日本学生選手権トラック自転車競技大会](#) 平成24年6月30日～7月1日
宮城・大和町 宮城県自転車競技場 男子208名 女子17名
- ・[文部科学大臣杯第68回全日本大学対抗選手権自転車競技大会ロード](#) 平成24年9月2日 鹿児島・錦江町 男子180名 女子20名

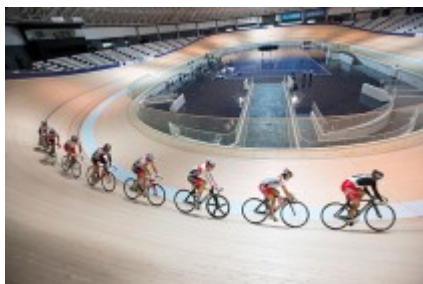
- ・ [第 51 回全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会](#) 平成 24 年 6 月 2 日 埼玉・加須、羽生 男子 160 名
- ・ [第 28 回全日本学生選手権個人ロード・レース大会](#) 平成 24 年 6 月 9 日 長野県木曾郡木祖村奥木曾湖周回コース
- ・ [全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会トラック](#) 平成 24 年 9 月 30 日 山梨県境川

④選手強化事業

・ <トラック>

- 4 月 13 日～14 日 トラック強化合宿を京都府・クラブコングにて実施した。
参加人員 選手 男子 0 名 女子 2 名 スタッフ 1 名
- 4 月 18 日～20 日 トラック強化合宿を京都府・クラブコングにて実施した。
参加人員 選手 男子 0 名 女子 1 名 スタッフ 1 名
- 4 月 21 日～22 日 トラック強化合宿を群馬県・グリーンドーム前橋にて実施した。
参加人員 選手 男子 9 名 女子 7 名 スタッフ 20 名
- 5 月 7 日～12 日 トラック強化合宿を京都府・クラブコング、向日町競輪場にて実施した。
参加人員 選手 男子 3 名 女子 2 名 スタッフ 3 名
- 5 月 14 日～17 日 トラック強化合宿を静岡県・日本 CSC にて実施した。
参加人員 選手 男子 3 名 女子 2 名 スタッフ 6 名
- 5 月 17 日～18 日 トラック強化合宿を千葉県・順天堂大学にて実施した。
参加人員 選手 男子 3 名 女子 1 名 スタッフ 5 名
- 5 月 21 日～26 日 トラック強化合宿を京都府・クラブコング、向日町競輪場にて実施した。
参加人員 選手 男子 2 名 女子 1 名 スタッフ 4 名
- 5 月 29 日～6 月 2 日 トラック強化合宿を静岡県・日本 CSC にて実施した。
参加人員 選手 男子 3 名 女子 2 名 スタッフ 7 名
- 6 月 4 日～9 日 トラック強化合宿を京都府・クラブコング、向日町競輪場にて実施した。
参加人員 選手 男子 2 名 女子 2 名 スタッフ 2 名
- 6 月 12 日～21 日 トラック強化合宿を静岡県・日本 CSC にて実施した。
参加人員 選手 男子 4 名 女子 3 名 スタッフ 8 名
- 6 月 25 日～29 日 トラック強化合宿を静岡県・日本 CSC にて実施した。
参加人員 選手 男子 6 名 女子 2 名 スタッフ 7 名

ナショナルチーム強化合宿（平成 24 年 6 月、静岡・日本 CSC）



- 7月14日～21日 トラック強化合宿を静岡県・日本 CSC にて実施した。
参加人員 選手 男子5名 女子3名 スタッフ10名
- 10月4日～9日 トラック強化合宿を東京都・JISS にて実施した。
参加人員 選手 男子1名 女子0名 スタッフ1名
- 10月13日～17日 トラック強化合宿を東京都・JISS にて実施した。
参加人員 選手 男子1名 女子0名 スタッフ1名
- 11月1日～11日 トラック強化合宿を京都府・クラブコング、向日町競輪場にて実施した。
参加人員 選手 男子0名 女子1名 スタッフ1名
- 11月22日～12月27日 トラック強化合宿を京都府・クラブコング、向日町競輪場にて実施した。
参加人員 選手 男子0名 女子1名 スタッフ1名
- 1月1日～9日 トラック強化合宿を京都府・クラブコング、向日町競輪場にて実施した。
参加人員 選手 男子0名 女子1名 スタッフ1名
- 1月10日～12日 トラック強化合宿を静岡県・日本 CSC にて実施した。
参加人員 選手 男子0名 女子2名 スタッフ1名
- 1月24日～27日 トラック強化合宿を静岡県・日本 CSC にて実施した。
参加人員 選手 男子30名 女子7名 スタッフ19名
- 1月28日～2月12日 トラック強化合宿を京都府・クラブコング、向日町競輪場にて実施した。
参加人員 選手 男子0名 女子1名 スタッフ1名
- 2月22日～25日 トラック強化合宿を静岡県・日本 CSC にて実施した。

参加人員 選手 男子5名 女子3名 スタッフ2名

<ロード>

- 5月17日～20日 ロード強化合宿を千葉県・鴨川市にて実施した。
参加人員 選手 男子7名 女子0名 スタッフ1名
- 6月25日～29日 ロード強化合宿を千葉県・鴨川市にて実施した。
参加人員 選手 男子7名 女子1名 スタッフ3名
- 8月30日～9月2日 ロード強化合宿を岩手県・八幡平市にて実施した。
参加人員 選手 男子0名 女子3名 スタッフ2名
- 10月10日～14日 ロード強化合宿を千葉県・鴨川市にて実施した。
参加人員 選手 男子3名 女子1名 スタッフ2名
- 10月19日～21日 ロード強化合宿を栃木県・宇都宮市にて実施した。
参加人員 選手 男子5名 女子0名 スタッフ3名
- 12月9日～14日 ロード強化合宿を東京都・JISS、千葉県・鴨川市にて実施した。
参加人員 選手 男子17名 女子1名 スタッフ6名
- 1月17日～19日 ロード強化合宿を千葉県・鴨川市にて実施した。
参加人員 選手 男子11名 女子0名 スタッフ6名

<MTB>

- 1月29日～2月1日 強化合宿を東京都・JISSにて実施した。
参加人員 選手 男子1名 スタッフ1名

⑤自転車競技の普及・広報事業

ア. 自転車競技の普及・広報

(公財)日本自転車競技連盟のホームページにおいて、大会の告知、要項、結果等を掲載するとともに、日本記録の更新を始め各種情報を掲載、情報発信し、普及振興を図った。

イ. 広報誌「シクリスムエコー」の発行

発行日	7月10日	190号 の発行	(特集号)
	7月31日	191号 の発行	(4～6月号)
	9月1日	192号 の発行	(8月号)
	9月28日	193号 の発行	(9月号)
	10月25日	194号 の発行	(10月号)
	11月16日	195号 の発行	(11月号)
	1月18日	196号 の発行	(12.1月号)

3月 11日 [197号](#)の発行 (2月号)

3月 31日 [198号](#)の発行 (特集号)

3月 31日 [199号](#)の発行 (3月号)

ウ. チャレンジサイクルロードレース大会の実施

- ・ [チャレンジロードレース大会](#) (平成24年4月8日、静岡・日本CSC) 男子840名、女子57名参加



2. 予想される事業実施効果

(1) 国内競技大会事業

本事業の実施により、登録者の練習成果の最高峰の場として、かつ予め定められた開催要項に基づき公正かつ安全な各種目の全日本選手権等を提供するとともに、海外派遣の選手選考の一助とするべく効率的な開催をすることにより、自転車競技の普及に寄与する。

特に全日本選手権は国内最高峰の大会であり、継続して開催することにより、自転車競技者をはじめ競技を志す方の目標となる大会である。

(2) 国内での国際競技大会事業

本事業の実施により、海外からのトップアスリートを呼び、高度かつ円熟したパフォーマンスを披露することにより、連盟登録者に対する刺激に加え、観客等一般の人達に対し競技の魅力を全国に発信することにより、自転車競技の普及促進を図る。

(3) 国際競技大会事業

連盟の選手強化は、オリンピック、世界選手権大会を頂点とする国際大会で世界に伍して戦うため、優秀な指導者・スタッフの下、年間を通しての計画的・科学的なトレーニングが不可欠であるとともに、海外での国際大会の経験を重ねることが必要である。

平成24年度は、ワールドカップ第2戦においては男子ケイリンで銅メダルを、ワールドカップ第3戦では同じく男子ケイリンで銀メダルを獲得した。

(4) 加盟団体事業

競技の底辺を支える全国47都道府県車連において、それぞれの地元の実情に合わせて

計画した事業の実施を通じて、自転車競技の普及を図ることにより、1名でも多くの登録者の増加を目指す。

また、高体連、学連にあっては、将来の日本代表に育つであろう若手の育成を目的とするものであり、1名でも多くのエリート強化指定選手が生まれることを目指す。

プロ協会にあっては、競輪選手を中心に特にトラック競技への参加を促すことにより、レベルアップを図る。

(5) 強化普及事業

本事業の実施により、オリンピック、世界選手権大会を頂点とする国際大会で世界に伍して戦うこととなり、将来的な自転車競技の普及・振興につながるものである。

平成 24 年度は、日本記録の更新が 29 回であり、学徒選手からエリートまで、強化活動の成果が表れている。

全国自転車競技指導担当者研修会・審判員講習会の開催については、自転車競技の向上において、競技力及び審判技術の向上は欠かせないため、最新の情報収集を行う。

また、チャレンジサイクルロードレース等の大会においては、広い世代に競技の楽しさをアピールし、競技の普及と登録者拡大を目指す。

広報関係では一般の方やファン層に向けた宣伝や観客動員を意識し PR 対策、メディアに対しても広報活動を実施していく。

3. 本事業により作成した印刷物

下記大会のプログラム

- ・ [第 15 回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース](#) : 300 部
- ・ [2012 年全日本自転車競技選手権大会ロード・レース](#) : 1,000 部
- ・ [第 16 回全日本選手権個人タイムトライアルロードレース](#) : 200 部
- ・ [第 18 回全日本シクロクロス選手権大会](#) : 200 部
- ・ [第 43 回全日本室内自転車競技選手権大会](#) : 300 部
- ・ [2012 年 JOC ジュニアオリンピックカップ自転車競技大会](#) : 400 部
- ・ [第 47 回全国都道府県対抗自転車競技大会](#) : 350 部
- ・ [2012 年文部科学大臣杯第 68 回全日本大学対抗選手権自転車競技大会](#) : 300 部
- ・ [第 28 回 2012 年全日本学生選手権個人ロードレース大会](#) : 250 部
- ・ [第 37 回チャレンジサイクルロードレース大会](#) : 400 部

他、加盟団体等実施の競技大会プログラム